

# 第5回 バイオエコノミー講演会

## バイオエコノミーで未来を拓くⅡ

- 2050年カーボンニュートラル宣言とバイオエコノミー -

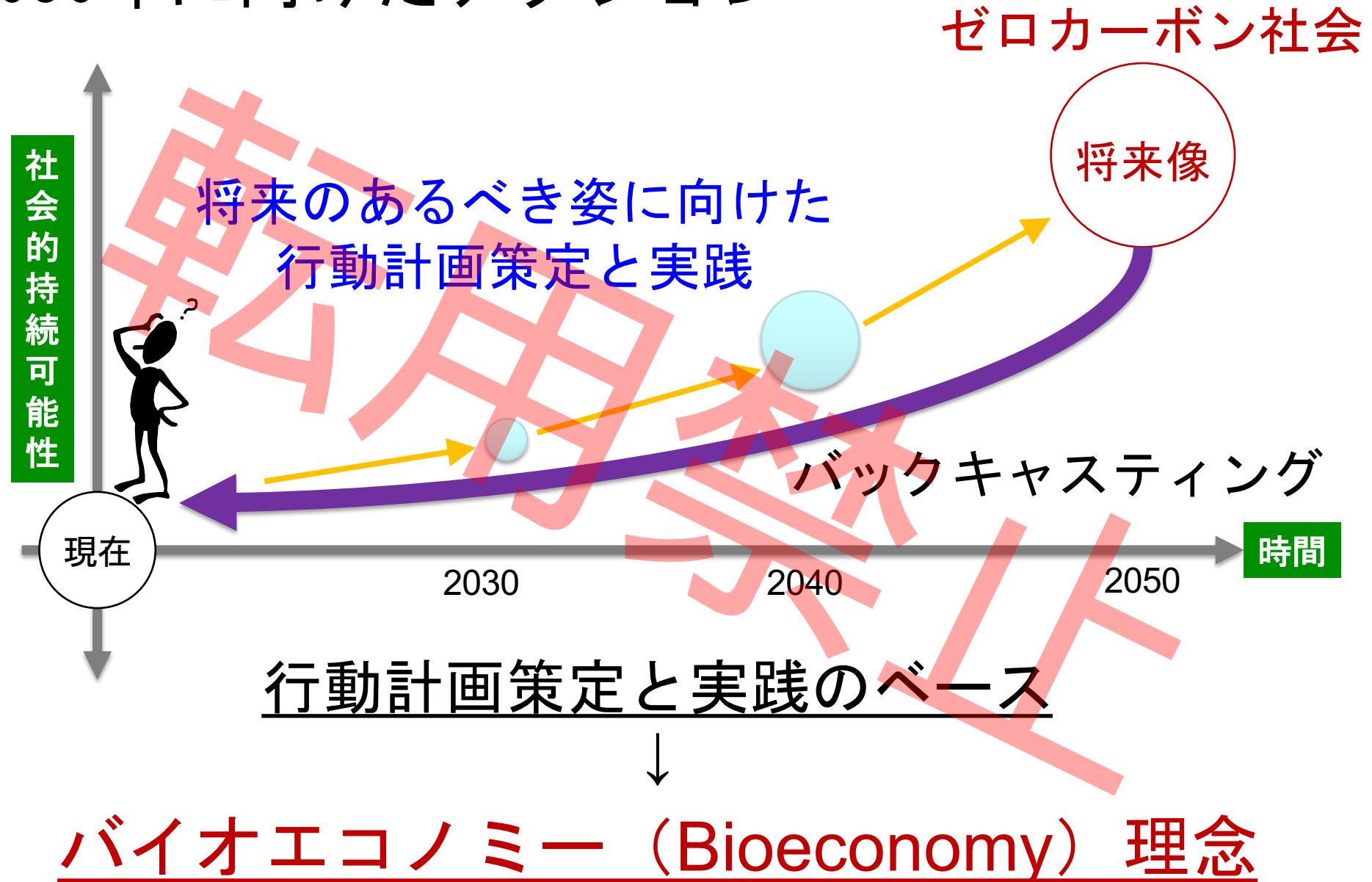
秋田県立大学（APU）木材高度加工研究所（IWT）  
教授

森林資源バイオエコノミー推進機構（BePA）  
代表取締役

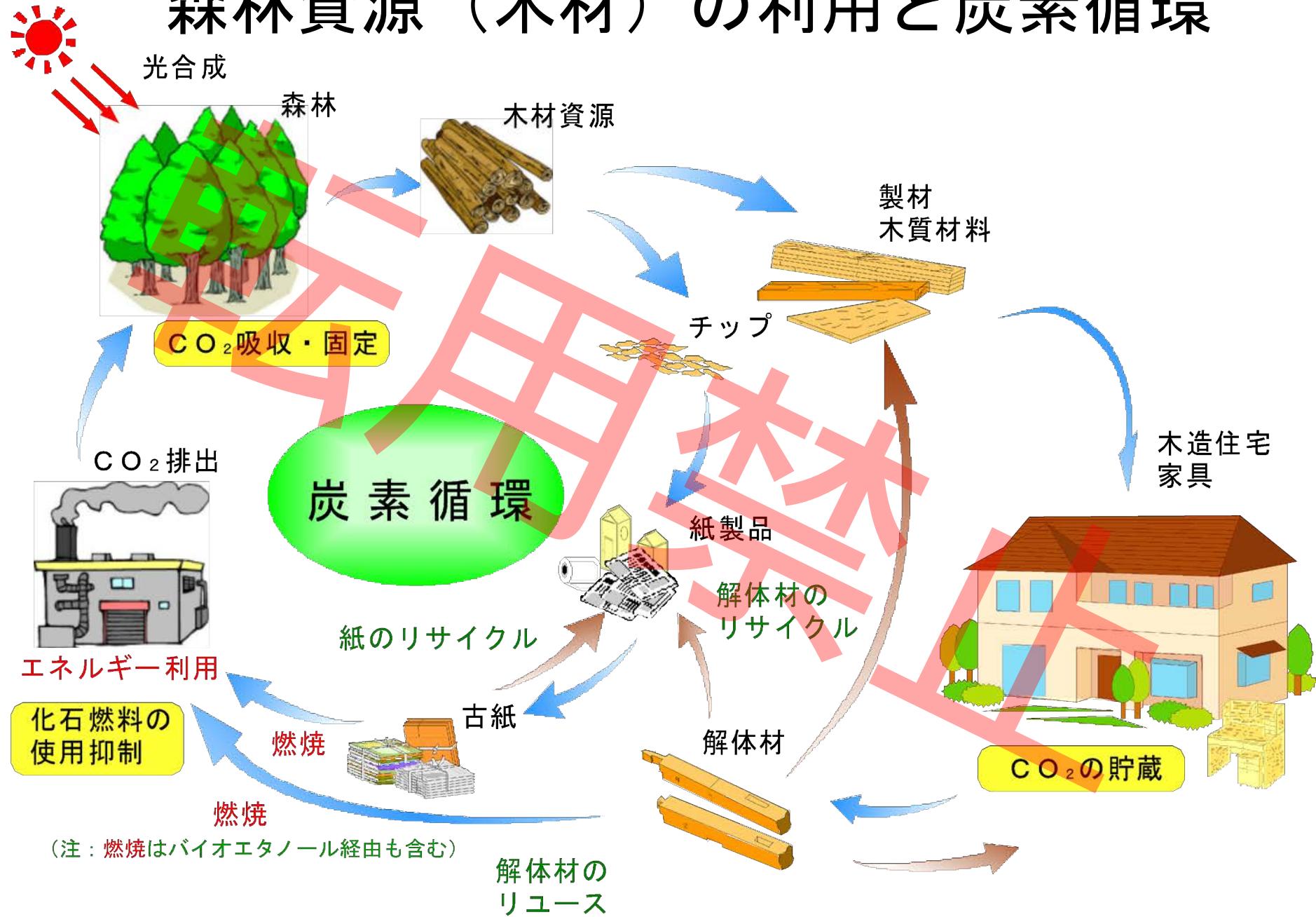
高田克彦



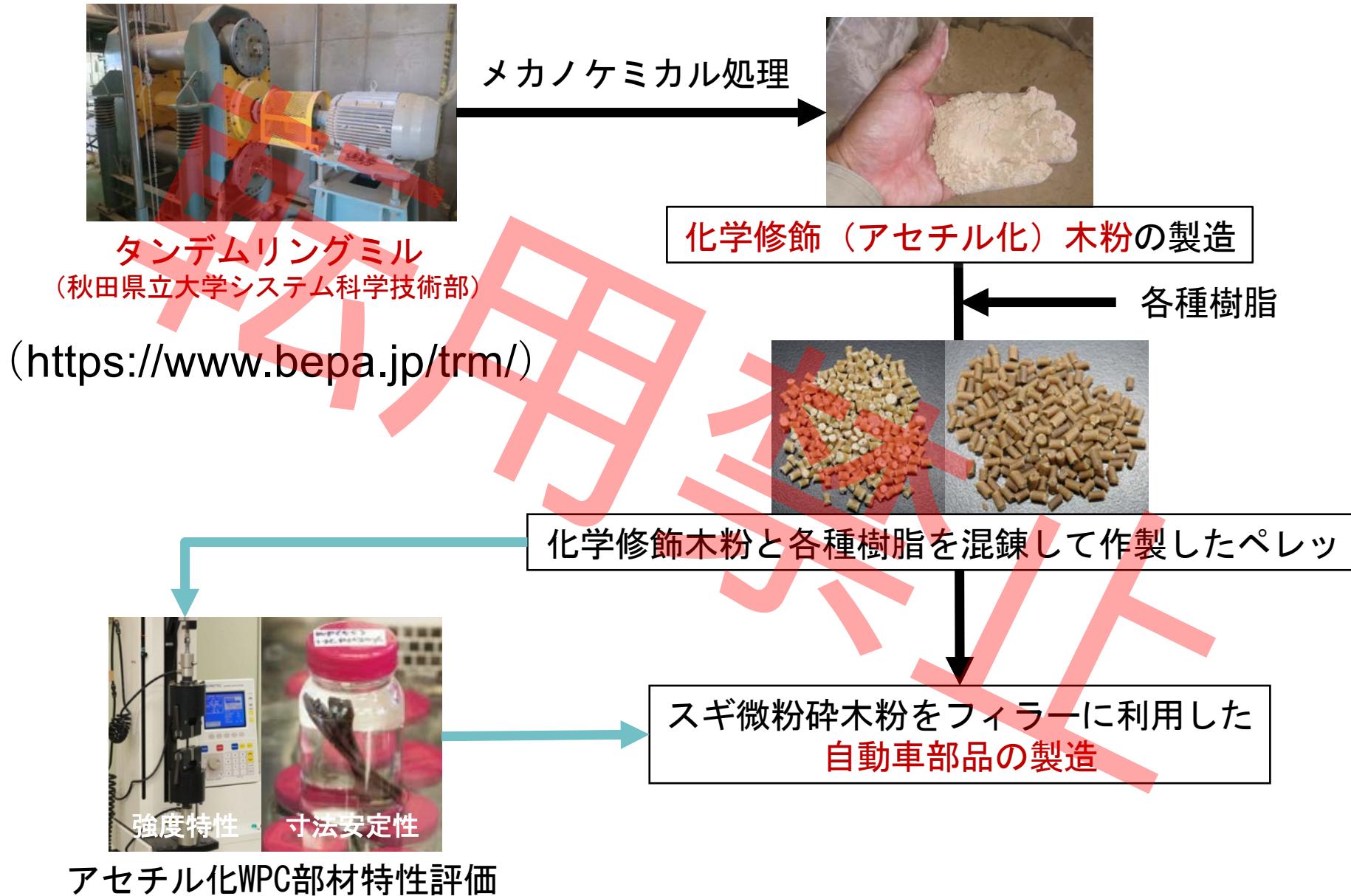
# 2050年に向けたアクション



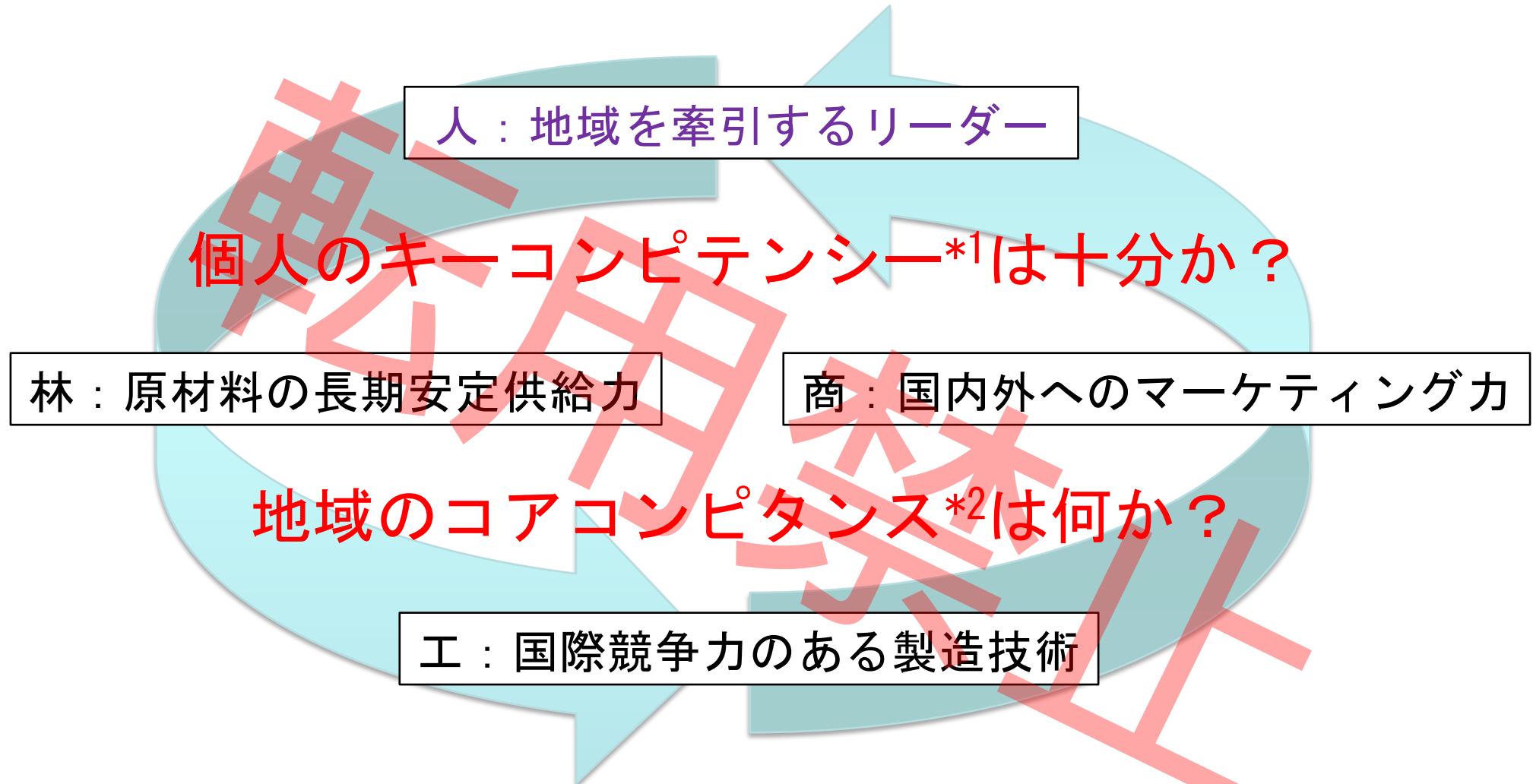
# 森林資源（木材）の利用と炭素循環



# BePAのチャレンジ



# 森林産業構築の計画と実践に必要なものは？



\*1 : 知識や技能よりも上位にある、特定の状況の中で、心理的・社会的な資源（技能や態度を含む）を引き出し、活用することにより複雑なニーズに応じる能力

\*2 : 競合する他地域や他社等、競合相手を寄せ付けない自地域や自社の強さ

## 江守 正多（エモリ セイタ）氏

- 最終学歴：  
東京大学大学院 総合文化研究科 博士課程修了 博士（学術）
- 略歴：  
1997年：国立環境研究所 大気圏環境部 研究員  
2004年：国立環境研究所 大気圏環境研究領域 主任研究員  
2004年：英国気象局ハドレーセンター 客員研究員  
2005年：国立環境研究所 大気圏環境研究領域 室長  
2006年：国立環境研究所 地球環境研究センター 室長  
2013年：同上 兼 地球温暖化研究プログラム 総括  
2016年：同上 兼 低炭素研究プログラム 総括 兼 社会対話・協働推進オフィス  
代表  
2018年：国立環境研究所 地球環境研究センター 副センター長 兼 低炭素研究  
プログラム 総括 兼 社会対話・協働推進オフィス 代表



## 藤島 義之（フジシマ ヨシユキ）氏

- 最終学歴：  
英國オックスフォード大学 有機化学専攻 PhD
- 略歴：  
1992年：Oxford Centre for Molecular Sciences 研究員  
1995年：味の素株式会社入社、中央研究所  
　　社内異動・組織変更で本社研究開発部、食品研究所、ライフサイエンス  
　　研究所健康事業開発部、北米味の素出向、イノベーション研究所業務に  
　　従事  
2015年：一般財団法人バイオインダストリー協会へ出向、日本バイオ産業人会議  
　　事務局兼務  
2018年：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）へ出向  
　　技術戦略センター（海外技術情報ユニット）  
2019年：同上 バイオエコノミーユニット



# 五十嵐 圭日子（いがらしきよひこ）氏

- 最終学歴：  
東京大学大学院 農学生命科学研究科 博士課程修了 博士（農学）
- 略歴：  
1998年：学術振興会特別研究員（DC）  
(米国ジョージア大学生化学分子生物学科に計7ヶ月間滞在)  
1999年：学術振興会特別研究員（PD）  
(スウェーデン国ウプサラ大学バイオメディカルセンターに1年間滞在)  
2002年：東京大学大学院農学生命科学研究科 助手  
2007年：東京大学大学院農学生命科学研究科 助教  
2009年：東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授  
2016年：VTTフィンランド技術研究センター 客員教授（併任）  
2018年：新エネルギー・産業技術総合開発機構 技術戦略研究センター  
(NEDO-TSC) フェロー（併任）



## 田村 典江(タムラ ノリエ) 氏

- 最終学歴：  
京都大学大学院 農学研究科応用生物科学専攻 博士課程修了  
博士（農学）
- 略歴：  
2005年：アミタ株式会社持続可能経済研究所 研究員  
2009年：株式会社アミタ持続可能経済研究所 主任研究員  
2010年：株式会社自然産業研究所 取締役、上級研究員  
2016年：大学共同利用機関法人人間文化研究機構 総合地球環境学研究所  
FEASTプロジェクト プロジェクト上級研究員





志が高く、経営能力が高い  
事業体 (or 連合体) が、  
次の時代を生き残って  
世界をリードする

